

綾里地区の復興まちづくりと被災跡地利用について

1. これまでと現在の取組

市・県では、綾里地区の早期復興に向けて各種復旧・復興事業に取り組んでいます。

■綾里地区における復旧・復興事業（位置等は「被災跡地土地利用実現化方策」参照）

区 分	事 業 名	総事業費 (千円)	内 容	図上 番号	完了年次 (予定)	事業 主体
こども園	綾里地区認定こども園整備事業	268,683	幼稚園と保育所の一体施設である認定こども園の整備を進めました。木造平屋建、建築面積 785 m ²	①	平成 25 年度	生涯学習課
災害公営住宅整備	災害公営住宅整備事業(綾里団地)	709,925	災害公営住宅の整備を進めました。鉄筋コンクリート造 3 階建 30 戸、建築面積 959 m ²	②	平成 26 年度	住宅公園課
高台移転 (防集事業)	防災集団移転促進事業		居住が適当でない区域内にある住居の集団移転地の整備を進めました。			市街地整備課
		257,326	田浜地区（12 区画）	③	平成 26 年度	
		388,879	港・岩崎地区（23 区画）	④	平成 26 年度	
防 災	消防庁舎復旧事業（綾里分遣所）	145,502	被災した三陸分署綾里分遣所本庁舎の整備を進めます。鉄筋コンクリート造 2 階建、建築面積 238 m ²	⑤	平成 27 年度	消防組合
	田浜地域防災コミュニティセンター整備事業	44,644	防災拠点となる避難所機能を備えた地域防災コミュニティセンターの整備を進めています。木造平屋建、建築面積 130 m ²	⑥	平成 27 年度	水産課
社会教育施設	公立社会教育施設復旧事業(三陸総合運動公園グラウンド)	94,932	地盤沈下等の被害を受けた三陸総合運動公園グラウンドを復旧しました。	⑦	平成 26 年度	生涯学習課
道 路	道路改良事業(田浜地区)	66,195	防災集団移転促進事業の高台移転に伴う道路改良整備を進めました。延長=180m、幅員=6.0m	⑧	平成 26 年度	建設課
水産用地等の整備	漁業集落防災機能強化事業(港地区)	203,600	土地の有効活用を図るための水産施設用地の嵩上げや道路改良、避難路の整備を進めます。水産施設用地 14,250 m ² 、集落道：延長=260m、幅員=6.0m、石浜避難路：延長=130m、幅員=2.0m	⑨	平成 28 年度	水産課
	漁業集落防災機能強化事業(田浜地区)		土地の有効活用を図るため、水産施設用地の嵩上げを進めます。水産施設用地 3,000 m ²	⑩	平成 28 年度	
漁港の復旧	漁港関係施設等災害復旧事業（綾里漁港）	7,830,700	被災した綾里漁港の防波堤や岸壁、防潮堤等の整備を進めています。	⑪	平成 29 年度	岩手県

2. 被災跡地の買取り

市では、防災集団移転促進事業により一定の要件を満たす被災跡地の買取りを進めています。綾里地区における被災跡地の買取りは、次のように見込まれます。

■被災跡地の買取り（見込み）

区 分	綾里地区
被災跡地数	50 筆
被災跡地面積	14,744 m ²

3. 被災跡地（買取地）利用の取組

綾里地区の被災跡地（買取地）の利用にあたっては、地域と市が協働で次のように取り組んでいきます。

①買取地を活用した公共事業の推進

防災集団移転促進事業で買い取った土地を活用した復旧・復興事業を推進していきます。
綾里地区で計画している漁業集落防災機能強化事業の水産施設用地として、買取地を活用していきます。

②緑化広場の整備

買取地を一体的に利用した緑化広場の整備を検討していきます。
広場の管理方法や組織・仕組みづくり等について、引き続き地域と検討を進めていきます。

③道路の改良

地域の意見を踏まえながら、低地からの避難機能と日常的な利便性の向上を図る道路整備を検討していきます。

④買取地を活用するためのルールづくり

緑化広場の用地のほか、地域の要望に応じて積極的かつ柔軟に市有地を活用できるよう、その利用に関するルールづくりを進めます。また、緑化広場への植樹等、公共空間の管理を積極的に進めていくという地域の意向を踏まえ、円滑な活動を支える仕組みづくりを進めます。

■綾里地区における検討中の取組（位置等は「被災跡地土地利用実現化方策」参照）

区 分	取組項目	取組の概要	図上 番号
復旧・復興事業として 〔事業主体 市〕	緑化広場の整備	綾里漁港の北側に跡地を一体的に活用した緑化広場の整備を検討します。	Ⓐ
	市道開墾線の整備	幅員の狭い箇所解消に向け、道路の改良整備について検討します。	Ⓑ
	市道港黒土田線の整備	道路の嵩上げ等の改良整備について検討します。	Ⓒ
	市道石浜線・石浜海岸線の整備	地域の利用状況を踏まえた道路の改良整備について検討します。	Ⓓ
	市道港田浜線・港上傾斜線の整備	低地からの避難機能と日常的な利便性の向上を図る道路整備を検討します。	Ⓔ
住民主体の取組として 〔事業主体 地域〕	緑化広場の維持管理	地域住民が主体となった緑化広場の維持管理の方法や仕組みづくりの検討を進めます。	Ⓕ